

育成 あさくち

令和6年3月8日 No.59
浅口市青少年育成センター
3月号

令和5年度もあと僅かとなり、皆様方におかれましては本年度を振り返り、来年度に向けてお忙しい日々をお過ごしのこととお察しいたします。

本年、当育成センターは2人の職員が入れ替わり、暗中模索の状況でスタートしましたが、皆様方のご協力により何とか1年を過ごすことが出来ました。大変お世話になりありがとうございました。来年度も同様のスタッフで運営する予定ですので、引き続きよろしくをお願いいたします。以下に本年度の広報誌で紹介できなかった取り組みを掲載します。

中学校・高等学校連絡会



この連絡会は年間を通して、8月を除く偶数月に開催しています。参加者は市内の中学校と高等学校の生徒指導担当者と育成センター職員です。内容は各校の現状と地域の様子や、今社会が直面している話題等です。個人情報保護の観点から具体的な内容については掲載できませんが、どんなことが話題になっているかお知らせします。

- 生徒の個人的な問題（問題行動、頭髪・服装、交友関係、生活環境等）
- 学校における問題（登下校の様子、不審者情報、あいさつ励行等）
- 社会的話題（SNS、電動キックボード、歩きスマホ等）

以上のような内容を協議し、他校の取り組みや出て来た意見を参考にしながら、自校の問題解決に役立てています。

～問題解決を早めるために～

SNSの普及で学校が把握できない問題が多くなり、そこでのトラブルの対処は学校の指導の範疇を超えている。こういった場合は早急に警察等に相談し、対応してもらうのが解決の近道になる。また、生徒がいなくなった件においても、警察に相談したら発見が早かった。このように問題が多様化する中、学校で問題を抱え込まずに、しかるべき機関と連携して問題解決にあたるのが、ベストな方法だと参加者で確認しました。



高等学校補導連絡会

この連絡会は年間を通して、3月を除く奇数月に開催しています。参加者は笠岡市と浅口市の高等学校生徒指導担当者と、笠岡市、里庄町、浅口市育成センター職員です。内容については中高連絡会とほぼ同様ですが、話の対象が高校生に絞られ、地域も笠岡、里庄、浅口に広がり、列車補導での様子も話題となります。

ここでは、生徒の言動や服装などについて、細かい情報交換も行われます。例えば本年話題となったのは以下のようなことです。

- SNSのトラブルに学校がどこまで関与するか。
- 女子の化粧やピアスなどの装飾品や、刺青をした生徒への対応はどうしているか。
- 校則の見直しの進捗状況はどうか。
- ニコチンやタールの成分がないタバコや大麻の指導をどうするか。
- アルバイトの許可をどうしているか。
- 自転車用ヘルメットの着用をどう指導しているか。

ご覧のように「刺青」「大麻」などの言葉が出てくるなど、以前では想像も出来ないような話題が上がり、各校がその対応に苦慮しています。当センターからもアドバイスをしていますが、解決の道筋は簡単には見えて来ません。

令和5年度補導状況

本年度補導状況をお知らせします。(2月末現在)

青少年の補導状況【累計】 (令和5年4月～令和6年2月)														
浅口市青少年育成センター														
行為名	補導総数		小学生		中学生		高校生		その他の学生		有職者		無職者	
	性別	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
喫煙		1	1										1	
不良交友														
男女不健全交際														
怠学														
校則違反														
交通指導		21	15	6	3	5	12			1				
その他														
指導小計		22	16	6	3	5	12			1			1	
注意		202	85	117	8	11	39	33	36	73				2
声かけ		617	328	289	151	104	105	66	72	119				

青少年の補導状況【累計】 (令和4年4月～令和5年2月)														
浅口市青少年育成センター														
行為名	補導総数		小学生		中学生		高校生		その他の学生		有職者		無職者	
	性別	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
喫煙		2	2							2				
不良交友		5	5							5				
男女不健全交際														
怠学														
校則違反		1	1							1				
交通指導														
その他														
小計		8	8							1			7	
注意		332	144	188			18	10	126	178				
声かけ		1106	604	502	38	21	293	135	267	346			1	5

令和5年度

令和4年度

数字が小さくて申し訳ありませんが、ご覧のように令和5年度と令和4年度を比較すると、**指導の総数は交通指導が増えたことにより増加しています。**《総数が8件→22件》

しかし、**注意と声かけについてはどちらも減少しています。**《注意332件→202件、声かけ1106件→617件》なお、交通指導の内容については自転車でのノーヘルと二人乗りに対するものがほとんどです。

問題の多様化はありますが、中高連絡会や高補連絡会の情報交換でも、学校内は比較的落ち着いている様子で、青パトによる巡回においても、大きな問題を感じる場面はありません。今のような落ち着いた状況が今後も続くことを願っています。

学ラン(学生服)からブレザーへ



昨年4月朝8時頃、出勤しているとピカピカのブレザーに身を包み、交差点で信号待ちをしている寄島中学校の新入生たちを見かけました。寄島の街並みにまだまだ溶け込んでいない感じではありますが、新しい時代を感じた瞬間でした。



逆に学ランが姿を消すのかと気になり、その歴史を調べてみました。学ランの起源は東京帝国大学が1886年(明治19年)に定めたものとされています。その形は黒の詰襟に金ボタンで、陸軍下士官をモデルに作られたらしく、**エリート意識**を持たせる狙いがあったということです。そして、和装ではできなかった**体操**や、**軍事訓練**ができる学ランは、以降、中等教育以上の制服として普及していきました。

また、1960年代になると、全国で初めてブレザーの制服が登場し、その多くは紺色の無地だったそうです。ちなみに中高生がブレザーを着たい理由は「**カッコいい**」「**高校生らしい**」「**動きやすい**」「**着やすい**」「**アニメで見たから**」などのようです。私がブレザーに期待するのは、学校が新しいことに挑戦している姿勢を感じるからです。服装だけでなく教育の内容についても、斬新なアイデアを取り入れて、新しい学校のスタイルを構築して欲しいと思います。



そして、ブレザーを着ている生徒たち自身が、ブレザーにふさわしい新しい時代を担うものになっていくことを期待しています。

《ブレザーの写真は寄島中学校1年生の了承を得て掲載しています》